



男女共同参画推進室 昭和キャンパス・まゆだま広場

第2回 まゆだまランチ 報告書

日時：平成26年6月19日(木) 12:00~13:00

場所：昭和キャンパス まゆだま広場(附属病院内旧手術棟1階)

参加者：7名(教員1名、学生5名、技術補佐員1名)

永井、嶋田、佐藤、長安(室員)、中村、小曾根 計13名

6月19日(木)、昭和キャンパス・まゆだま広場で「第2回まゆだまランチ」を開催しました。2回目となる今回も前回と同じく『ロールモデルに聞く』をテーマに講話いただきました。今回は当室の副室長であり、医療安全管理部長、医療人能力開発センター副センター長(女性医師等教育・支援部門)として幅広くご活躍の永井弥生先生を講師にお迎えし、今までのご経歴や現在の業務、そして今後のキャリアパス等についてお話いただきました。

今回も前回同様、多数の方にご参加いただき、アットホームな雰囲気の中で行われました。講話は永井先生ご自身の半生を年表にまとめたスライドを流しながら行われ、学生時代のお話や医師としての様々なご経験を笑い話を交えてお話いただき、参加者からは終始どよめきや笑い声が起こる大変楽しいひとときになりました。

永井先生のキャリアの中で終始一貫していたのが、先生の何事にもチャレンジするアグレッシブさで、スライド内の【「できない」ではなく「どうしたらできるか」】という言葉に大変心動かされました。先生の言葉と仕事に対する姿勢に元気をいただき、講話後はとても前向きな気持ちになれました。参加者のみなさんも笑顔で広場を後にしていたのが印象的でした。



今回の講話タイトル通りの元気がでるお話でした



随所で笑い声やどよめきが起こる楽しいひとときでした

◆◇参加者の感想◇◆ (一部抜粋)

- やりがいのある仕事と、自分がやりたいと思うことの挑戦を両立させながら若々しく活躍されている方のお話を聞くことができ、とても刺激になりました。結婚、出産、子育てと数年先のことだけしか想像をしたことがなかったのですが、子育てが落ち着いた 20 年、30 年後に仕事や様々な活動を通しての経験を積んでいるかがその時の生き生きとした生き方に繋がってくるのだと感じました。結婚、出産などは女性にとって大きな出来事で、きっとその時は一杯いっぱいになってしまうと思いますが、その先の自分の人生もきちんと歩んで行けるよう今から広い視野を持っていたいと思いました。貴重なお話ありがとうございました。
- 今後の人生を考えると、もし病院への就職が自分に合っていなかったらどうしよう、結婚は早くしたいけれど勉強する時間はなくなってしまうだろうか、など不安がたくさんあります。しかし永井先生のお話を聞いて、焦って人生を決めてしまう必要はないし、今抱えている不安はまず社会に飛び込んでみないと分からないなど、楽に考えられるようになりました。また、生き生きとしている先生を見て、専門性を身に着けることの重要さを感じました。私も自分に合った分野を見つけ、仕事もやりたいことも一生懸命できる人になれるよう、まずは勉強を頑張ろうと思います。

- ・永井先生のご講義を聴かせていただきまして、自分にあった道を見つけるために、挑戦することや視野を広げることが大切だと感じました。また、女性医師の増加が、総合的な医師の減少の要因なのかどうかというお話も興味深かったです。個人的に、女性医師のほうが場合によってはよいときがあると思っていたので、女性医師の増加は良いことだと思っていましたが、そういった面での問題がある可能性を知ることができました。ご参考になるお話をありがとうございました。
- ・永井先生の話を知って、とてもエネルギッシュな生き方をされている方だと改めて感じました。このようにまゆだま広場で働く女性の方々の話を伺っていると、女性の社会での在り方が積極的に議論されている中で、男性もまた、女性社会進出に伴う社会での在り方を考えていかなければならないと感じます。

国立大学法人群馬大学 男女共同参画推進室
昭和キャンパス・まゆだま広場

附属病院内 1 階 旧手術棟旧同愛会事務所前

TEL:(内) 4 1 4 4

MAIL:kyodo-sankaku@jimu.gunma-u.ac.jp

HP:http://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp